

e-ビーフNEWS 北の牧場から

June 2020

十勝のちょっと早い初夏

なんと、30℃超しの日が続いています。昨年も全国一の猛暑来でしたが、今年もやってきました。5月で真夏日かよと言いたいです。予報で覚悟が決まると得意の自宅自粛でジーとしています。我が家はまだクーラーがありがたいですが、今まで北海道は扇風機の普及も低かったくらいですから大変。朝方の10℃と寒暖差には参りますが、動かなら午前中勝負です。朝の太陽さんは、早いですね。3時過ぎには薄明るさとともに鳥たちが騒ぎ、起こされます。

花盛りが続く、野原から木々へ、ライラックのエンジやナカマドの白い花が満開です。また山菜が行者ニンニクからタランボ、ウドに移ってきます。もらってばかりですが。

畑作業も佳境に達し、馬鈴薯を作付けした畝山が、畑一面にきれいに縦列に並びます。十勝もICTトラクターの自動操舵が普及、まっすぐ一直線に伸びています。これを見るだけでも農村景観にウットリしますね。残雪をいただいた深緑の日高山脈を背に、茶色の作付けしたばかりの畑と新緑に伸びた牧草や麦畑のパッチワークはいけますよ。

先日、町営牧場の入牧があり、わが牧場からは選抜2頭、他の牧場と合わせダニ駆除や防虫タック装着などしてさっそうと放牧場に飛び出てゆきました。天気はまさに「なつぞら」真っ青な大空に羊雲、新緑の牧草に若牛の群れ…絵ですな



活動のお知らせ

全ての会議等は中止または日程決まらずの延期になっています。
環境リサイクル肉牛協議会の総会は書面決裁で予定します。

NEWSばかり読み

- 家畜伝染病の名称変更 牛白血病は牛伝染性リンパ腫など 5/1:分かりやすく
- IEA (国際エネルギー機関) 20年世界のエネルギー需要 戦後最大の6%減5/1:グリーン化
- トウモロコシ相場急落 コロナ直撃 燃料、飼料需要減5/2:
- 大手百貨店 4月上売8割減5/2:
- 大阪府 経済再開へ新型コロナの解除基準作成5/3:地方?から
- 巣ごもり消費に変化 売れ筋が保存性から嗜好品へ5/3:生活の工夫
- 業種超え従業員のシェア換え 観光、外食から通販、農業へ 5/4:チャンスかも
- マスク、防護服の輸出規制が、供給不足に拍車5/4:これが政治道具に
- コロナ禍で家庭消費に国産食材が好調 豚肉、鶏肉、結球野菜等 5/8:食材に注目
- 米国USDA コロナ影響で停止していた食肉加工施設が再開 5/8:食産業が止まる
- 4月外食産業の売上高過去最悪に5/8:
- IEA 国際エネルギー機関 温暖化ガスがコロナ禍で急減 5/10:自然回帰
- パックご飯 19年度21万パック超えと過去最高5/11:
- 4月輸入実績 米国産牛肉2割増5/13:着実の伸びしていますね
- 世界のメーカー稼働率49%まで落ち込む5/13:世界恐慌一歩手前
- 東京商工リサーチ 4月の企業倒産件数が急増5/14:基盤崩れる
- 中国 豪州産牛肉の輸入停止 豪中関係悪化5/14:しわ寄せがくる
- 緊急事態宣言 39県解除5/15:推移見守りたい
- 上場企業 1-3月純利益76%減赤字転落5/15:大企業も影響大
- 産業界感染防止指針 スーパー試食停止や旅館入浴制限 5/15:楽しみが減る

- レナウンが民事再生5/16:構造的弱い企業から
- コロナ禍で各自治体の支援が多彩5/19:自治体の取り組み姿勢がわかる
- 乳業メーカー 乳製品加工増強で需給バランス調整図る 5/19:リスクの分散力
- 種苗法改正案 見送り5/20:もっと論議の深化必要
- 19年豚肉自給率48.6%、牛肉34.6%と最低5/23:ジワリ低下
- 九大 牛白血病媒介のサシハエに天敵蜂 国内にも生存 5/23:自然界は豊富
- 総務省 4月消費物価指数 食料品2.1%上昇 巣ごもり効果 5/23:胃袋は同じ
- 夕張メロン 初セリ2玉12万円昨年の40分の1 5/26:実体経済
- 農林水産省 畜舎の建築基準の緩和へ検討開始 5/27:誰がための基準なの
- 豚加工の世界最大手 万州国際(中国)コロナ禍、アフリカ豚熱で供給不足に5/27:グローバル化でもヘッジできず
- 20年度コメ作付け予想 前年度並み 飼料米減少傾向 5/28:分散化図れず
- 新型コロナで家ナカ消費に変化 加工品から自炊へ調味料の消費が増える 5/29:良い傾向
- コンビニ時短が半年で1900店舗と急増 外出自粛が拍車 5/29:消費構造変化が続く
- 4月輸出が3か月連続減少 牛肉43%減5/29:影響ジワリ
- 19年漁獲量 過去最低の416万Tサケ・サンマ・イカ減ピークの1/3 5/29:陸上で頑張らないと
- 農林水産省 エコフィードの加熱処理100℃6分基準化5/29:
- 総務省 完全失業率悪化 求人数も大幅減5/30:後世に残る
- 米国産トウモロコシ 価格下落の見通し 記録的豊作予想と燃料需要の低下5/30:政策意図で変化

東京直近NEWS (5/30 Shi-REPORT)

ホルス

相場は若干上げ戻し横ばい状況。
緊急事態宣言解除以降、量販スーパーの需要増は落ち着きを取り戻しつつある。
外食関係は休業解除も、大きく回復はしておらず依然動きは鈍く焼肉業態に期待。慢性的に上位部位の動きは非常に悪く、在庫は重い。
モモウデスライス部位やスソ物も一定の動きはあるが、特需的な動きは少なくなっている。今後の生活様式変更から、節約志向はさらに増すこと予測されさらには梅雨入りも目前であることから高価な動物タンパクである牛肉需要は不透明。

経産牛

経産牛相場は高値安定状況継続。
出回り頭数も減少基調あり集荷体制も頭数確保が課題。
内食の伸長から安価な挽肉原料の引合は強い状況だが、5月ほどの勢いは感じられない。
産地工場、メーカーともに挽き材原料の在庫は非常に少ない模様。
今後輸入物の価格も上昇可能性あり、国産もコストアップから価格面も不透明。徐々に加工用原料パーツの動きも出てきているが、ロインの動きは停滞しており上位部位の在庫消化が課題。にパーツ関係は外食加工筋の停滞から在庫基調。特にロインの販売低迷が大きな課題。

2020.5.29

報道は新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急事態宣言による国民の経済活動などを意識した解除とその後の社会変化に関心が移りました。コロナ禍は経済活動や教育体制、芸術・文化活動など国民生活のあらゆる分野への波及は莫大で、その後の修復は方向性が不透明なまま、特に中小の経営ではいわゆる自粛効果で遠のいた客足の回復まで持ちこたえられるかという時間の課題があり、大きな変革を伴うことと国民の多くが認識していると思います。目先の経済活動の回復から始めるとしても、命の危険ということで陰に隠れた子供の教育の修復は将来展望も含めて熟慮した「澄心静慮」の契機にコロナ禍を活用して欲しいと思います。医療崩壊を防ぐということで学術研究や文化芸術活動も休止を余儀なくされてきました。この大きな停滞をこの先の活動にどう反映させて活かして行くのかが問われているので、まだ完全には収束していませんがこれまでも、大きな犠牲を世界中で払ってきました。しかし、生活体系の見直しのための翼を休め将来を考える時間だったのかも知れません。e-びーふNews78号は新着情報1つと書籍の続きです。

1. 畜産技術#779.2020.5.

国内情報1: 和牛肉の輸出拡大へ向けた嗜好性調査(尾花尚明;家改セ本所)

わが国の和牛肉の輸出増は重要課題の一つであり、輸出相手国拡大の戦略取組として2017-19年幕張メッセでのFoodex Japanで黒毛和種牛肉(サーロイン)の嗜好性調査を行いました。16カ国1,013名の結果から、和牛肉はやわらかさ、多汁性、風味が好まれ、アジア諸国では脂肪交雑の高い牛肉の需要が高く、母国で普段食べる肉の

BMSNo.は4.5, 北米3.5, 欧州2.8, 豪州2.2でした。北米諸国は和牛香を80%以上の人を感じ、脂肪交雑のみならず「風味」もPRツールと思われました。欧州諸国でも和牛香の評価で風味と共に脂肪融点の低さと赤身部位も有効なPRツールです。大洋州では脂肪交雑よりも「風味」とともに赤身部位がPRツールとして有効のようです。

2. 「クリーンミート: 培養肉が世界を変える」続

従来の食肉生産では飼料生産に必要な水の確保や家畜の温室効果ガス排出抑制に壁があり、培養肉生産をはじめとする細胞農業革命が欧米の技術と大手投資家の援助により始まりました。科学の進歩で家畜を救うという発想から試験管ミートではなくクリーンミートと呼ぶ新しい考えはハンバーグやミートボール、ターキーナゲットを生み出し、食肉業界も投資に動き、消費者には環境負荷を軽減するコラーゲンからの培養レザーで靴をつくるなどで理解を迫ると言う戦略も計画されています。細胞培養に用いる筋芽細胞は現存する動物から得たものではあるものの、天然の氷を切り出してきた人々が技術革新で安全に水から氷を得てきた歴史と家畜を育て肉を得てきた歴史とを同一線上で理解するには時間を要することかも知れませんが、近い将来細胞農業でつくられた食品を何ら抵抗なく受け入れる時代が来るのだろうという予感を感じさせる一冊です。

資源循環型肉牛生産シンポジウム 2019

話題提供1.「有機畜産とICT活用 実践例」全5回シリーズ⑤

有機酪農研究会 会長 石川賢一氏



● 新聞に取りあげていただきました!

● 左:十勝毎日新聞様 右:日本農業新聞様

転載・再利用は固くお断りします